

重光、リトヴィノフ會談
蘇聯譲らず、遂に

【モスコイ二十日荻野副型特航員 發】バルカン北^{ウチシロ}緯^{キョウ}線^{キョウ}航行中發

蘇聯機某地に飛ぶ

蘇聯軍の配備嚴重を極む

十九日臨時變換、バンコク方面に於て東進を強めた暹羅軍は甘密山よりその守備隊に上したが、同夜ソ聯飛行機が（ ）方面に飛來した。情
に大なる變化なく滿ソ國境は不氣味な對立のみ、廿一日朝を迎へた、要路に砲臺より下據立旗に一帶に大日以來之の空軍と陸軍車
に附屬象車となり河口地帯千里對岸に駐兵地地らしきもの、ノルゲルマ島も變換されてゐる。
東洋總理事件としては、三の日滿韓外交當局の折衝より三聯に同聲、朝鮮の對策を至り、現地に於ける使者の要求に對しては、二十日夕刻
に至るも何等の應答なく、一方十九日來現地一帶のソ聯軍の活動は挑戰的態度に出で、二十日午後に至り斧や戰鎧
を増強しつつある、當面の第一線責任者である滿洲國外交當局では不法占據の原狀回復を主眼として折衝を續けは
る方針の如きも、重なる不遜の態度に對し現地當局は無論のこと、各方面に速かに斷乎たる決意を以つて國境の
明朗化を期すべしとの要請が高まりつつある模様で、現時の要請は一段と急進化を呈してゐる。

蘇聯騎馬隊
香山洞に向ふ

（○）廿一日同盟解脫員等、ソ聯の要請である、又同地約一千哩程、約六萬、十數日、二十一日午後四時、の汽船「露」はボネツ湖に入湖し、ノアチン湖に對する方面より香田出た。昨午、ボネツ湖の汽船は、この方面に向ひ、香山湖に接近する、といふ消息を呈して來た。

蘇聯空軍大演習

（○）廿一日連日解脫員等、其方面、移つて右の神劍を動かした。ソ聯の機上より機上、其の機上、昨午十九日以來、東、巴拉バダ

附近に於て、盛んに空軍の演習、かつつて、參戰機五、六架、實戰機等の如く大規模な演習、敵へ向けてゐる。思ふにこのの行爲は、殊に、行はれれば對日デモ見られる。

蘇聯側の真意を打診

り大將事件の腹癒せと
新幹部の獨善的強がり

我嚴然たる態度に進退兩難

暴利取締令愈よ發動

けふ府令を公布即日實施

港物等は内地に於て海關の海關
 規則、強化之事、既
 經、關稅、三、關稅、三、關稅、三、
 府會、十八、關稅、三、關稅、三、
 之、貨、取、收、付、之、件、
 中、之、以、改、之、件、於、廿、日、會、
 議、以、之、公、布、即、行、實施、之、
 府、會、之、如、
 第一條、貨物、之、運、往、之、目、的、
 以、左、に、掲、げ、る、之、品、之、賣、出、
 若、は、賣、出、を、得、る、に、左、に、掲、
 げ、る、之、品、を、賣、出、し、若、は、販、賣、
 せ、し、と、す、る、者、は、其、之、の、販、賣、
 期、間、を、定、め、て、其、之、の、行、
 爲、を、其、之、と、違、つ、る、旨、を、宣、
 言、し、且、必、要、と、認、め、る、事、は、
 當、該、物、品、の、取、引、に、付、係、する、
 之、を、以、て、左、に、掲、げ、る、物、品、の、販、
 賣、を、許、す、る、と、違、つ、る、旨、を、宣、
 言、せ、る、者、ある、事、亦、同、し、
 一、金、銀、貨、之、の、類、品、に、金、
 屬、製、品、(二、銀、鍍、品、銀、鍍、
 品、
 三、鍍、銀、品、及、其、之、の、製、品、
 四、自、動、車、其、他、之、の、車、及、其、
 之、の、部、品、五、電、燈、及、電、
 柱、六、電、線、七、鋸、鋸、瓦、
 八、鐵、釘、九、鋸、鋸、瓦、
 十、石、油、及、其、之、の、製、品、
 十一、石、
 油、及、其、之、の、製、品、
 十二、棉、花、
 十三、棉、花、
 十四、棉、花、
 十五、棉、花、
 十六、棉、花、
 十七、棉、花、
 十八、棉、花、
 十九、棉、花、
 二十、棉、花、
 二十一、棉、花、
 二十二、棉、花、
 二十三、棉、花、
 二十四、棉、花、
 二十五、棉、花、
 二十六、棉、花、
 二十七、棉、花、
 二十八、棉、花、
 二十九、棉、花、
 三十、棉、花、
 三十一、棉、花、
 三十二、棉、花、
 三十三、棉、花、
 三十四、棉、花、
 三十五、棉、花、
 三十六、棉、花、
 三十七、棉、花、
 三十八、棉、花、
 三十九、棉、花、
 四十、棉、花、
 四十一、棉、花、
 四十二、棉、花、
 四十三、棉、花、
 四十四、棉、花、
 四十五、棉、花、
 四十六、棉、花、
 四十七、棉、花、
 四十八、棉、花、
 四十九、棉、花、
 五十、棉、花、
 五十一、棉、花、
 五十二、棉、花、
 五十三、棉、花、
 五十四、棉、花、
 五十五、棉、花、
 五十六、棉、花、
 五十七、棉、花、
 五十八、棉、花、
 五十九、棉、花、
 六十、棉、花、
 六十一、棉、花、
 六十二、棉、花、
 六十三、棉、花、
 六十四、棉、花、
 六十五、棉、花、
 六十六、棉、花、
 六十七、棉、花、
 六十八、棉、花、
 六十九、棉、花、
 七十、棉、花、
 七十一、棉、花、
 七十二、棉、花、
 七十三、棉、花、
 七十四、棉、花、
 七十五、棉、花、
 七十六、棉、花、
 七十七、棉、花、
 七十八、棉、花、
 七十九、棉、花、
 八十、棉、花、
 八十一、棉、花、
 八十二、棉、花、
 八十三、棉、花、
 八十四、棉、花、
 八十五、棉、花、
 八十六、棉、花、
 八十七、棉、花、
 八十八、棉、花、
 八十九、棉、花、
 九十、棉、花、
 九十一、棉、花、
 九十二、棉、花、
 九十三、棉、花、
 九十四、棉、花、
 九十五、棉、花、
 九十六、棉、花、
 九十七、棉、花、
 九十八、棉、花、
 九十九、棉、花、
 一百、棉、花、
 一百一十、棉、花、
 一百一十一、棉、花、
 一百一十二、棉、花、
 一百一十三、棉、花、
 一百一十四、棉、花、
 一百一十五、棉、花、
 一百一十六、棉、花、
 一百一十七、棉、花、
 一百一十八、棉、花、
 一百一十九、棉、花、
 一百二十、棉、花、
 一百二十一、棉、花、
 一百二十二、棉、花、
 一百二十三、棉、花、
 一百二十四、棉、花、
 一百二十五、棉、花、
 一百二十六、棉、花、
 一百二十七、棉、花、
 一百二十八、棉、花、
 一百二十九、棉、花、
 一百三十、棉、花、
 一百三十一、棉、花、
 一百三十二、棉、花、
 一百三十三、棉、花、
 一百三十四、棉、花、
 一百三十五、棉、花、
 一百三十六、棉、花、
 一百三十七、棉、花、
 一百三十八、棉、花、
 一百三十九、棉、花、
 一百四十、棉、花、
 一百四十一、棉、花、
 一百四十二、棉、花、
 一百四十三、棉、花、
 一百四十四、棉、花、
 一百四十五、棉、花、
 一百四十六、棉、花、
 一百四十七、棉、花、
 一百四十八、棉、花、
 一百四十九、棉、花、
 一百五十、棉、花、
 一百五十一、棉、花、
 一百五十二、棉、花、
 一百五十三、棉、花、
 一百五十四、棉、花、
 一百五十五、棉、花、
 一百五十六、棉、花、
 一百五十七、棉、花、
 一百五十八、棉、花、
 一百五十九、棉、花、
 一百六十、棉、花、
 一百六十一、棉、花、
 一百六十二、棉、花、
 一百六十三、棉、花、
 一百六十四、棉、花、
 一百六十五、棉、花、
 一百六十六、棉、花、
 一百六十七、棉、花、
 一百六十八、棉、花、
 一百六十九、棉、花、
 一百七十、棉、花、
 一百七十一、棉、花、
 一百七十二、棉、花、
 一百七十三、棉、花、
 一百七十四、棉、花、
 一百七十五、棉、花、
 一百七十六、棉、花、
 一百七十七、棉、花、
 一百七十八、棉、花、
 一百七十九、棉、花、
 一百八十、棉、花、
 一百八十一、棉、花、
 一百八十二、棉、花、
 一百八十三、棉、花、
 一百八十四、棉、花、
 一百八十五、棉、花、
 一百八十六、棉、花、
 一百八十七、棉、花、
 一百八十八、棉、花、
 一百八十九、棉、花、
 一百九十、棉、花、
 一百九十一、棉、花、
 一百九十二、棉、花、
 一百九十三、棉、花、
 一百九十四、棉、花、
 一百九十五、棉、花、
 一百九十六、棉、花、
 一百九十七、棉、花、
 一百九十八、棉、花、
 一百九十九、棉、花、
 二百、棉、花、
 二百一十、棉、花、
 二百一十一、棉、花、
 二百一十二、棉、花、
 二百一十三、棉、花、
 二百一十四、棉、花、
 二百一十五、棉、花、
 二百一十六、棉、花、
 二百一十七、棉、花、
 二百一十八、棉、花、
 二百一十九、棉、花、
 二百二十、棉、花、
 二百二十一、棉、花、
 二百二十二、棉、花、
 二百二十三、棉、花、
 二百二十四、棉、花、
 二百二十五、棉、花、
 二百二十六、棉、花、
 二百二十七、棉、花、
 二百二十八、棉、花、
 二百二十九、棉、花、
 二百三十、棉、花、
 二百三十一、棉、花、
 二百三十二、棉、花、
 二百三十三、棉、花、
 二百三十四、棉、花、
 二百三十五、棉、花、
 二百三十六、棉、花、
 二百三十七、棉、花、
 二百三十八、棉、花、
 二百三十九、棉、花、
 二百四十、棉、花、
 二百四十一、棉、花、
 二百四十二、棉、花、
 二百四十三、棉、花、
 二百四十四、棉、花、
 二百四十五、棉、花、
 二百四十六、棉、花、
 二百四十七、棉、花、
 二百四十八、棉、花、
 二百四十九、棉、花、
 二百五十、棉、花、
 二百五十一、棉、花、
 二百五十二、棉、花、
 二百五十三、棉、花、
 二百五十四、棉、花、
 二百五十五、棉、花、
 二百五十六、棉、花、
 二百五十七、棉、花、
 二百五十八、棉、花、
 二百五十九、棉、花、
 二百六十、棉、花、
 二百六十一、棉、花、
 二百六十二、棉、花、
 二百六十三、棉、花、
 二百六十四、棉、花、
 二百六十五、棉、花、
 二百六十六、棉、花、
 二百六十七、棉、花、
 二百六十八、棉、花、
 二百六十九、棉、花、
 二百七十、棉、花、
 二百七十一、棉、花、
 二百七十二、棉、花、
 二百七十三、棉、花、
 二百七十四、棉、花、
 二百七十五、棉、花、
 二百七十六、棉、花、
 二百七十七、棉、花、
 二百七十八、棉、花、
 二百七十九、棉、花、
 二百八十、棉、花、
 二百

[illegible]

住民の動搖を防ぐ

[illegible]

過を詳細に調査し更に二十日、衆議
時より臨時憲政に行かれたり、野
合は衆議院の議の結果に基き、軍の
方針を説明し重大協議を行つた

鐵道局大増員

「乗んでもねえいたづらをしやが
角のと
力さか
兵衛
『柱九
もい
もの」
したかに、渾身汗を流して喘ぎつ
た。そして、それでも立ちつかない
を見るに、堪へつかない、ぐいと
引退上。

説經事業を勤進し、編輯改良事業等の進捗に伴ひ、聘任員四百五十名（支店員を含む）を増員すべく、新原田和太郎氏は、法務省より、折衝の爲廿日午後十二時十分歸列理へ、急遽来上

人

○西馬西雄三氏（主任秘書有斐野保氏）は前佐伯のため廿五日及廿六日（廿七日）二回、廿四日及廿五日（廿六日）二回、



州總任の警
大倉高南山陶都一校外三名
経商親善のため入城、二十一日
本社来訪
佐藤正登氏（京城商運理事）説
議で開催の主権商運理事會

原の女宮廿一日、寅十一時、訃告奉
 詔、廿六日歸葬。
 ○在任者氏（兼顧問・議員） 廿一日
 朝、於牛島ホテル。
 ▲前川重三氏（東京大蔵大臣） 廿
 一日、雲人號牛島ホテル。
 ○引越新領天位（龍山國副參
 謀） 辭任務のため廿一日、日本
 武備館氏（東京門番） 廿五

『のぞみ』で聘任
 天地玄黄

結局戦争など出来ぬ體に、
 強がりの足業動作を反復する
 體の如く加減
 ×
 しかし物にはなみといふも
 のがある。ガソリンがれてから
 せんや等ではなかつたとかへや
 せんやといふ
 見聞がた。やいゝ使の御を見や
 見ぬかといふ
 張上げが、喉嚨に腰を刺
 てる。口惜しに路がふふへて
 須に張が傳つてくる
 「岸はたふさ落ひりもした、
 てのそくで奴。親兄弟の足はし
 る」といふ
 兵衛 先頭

飛行機二百五十万、トラクタ六十部、等、點は物々しいが、その数の多ゆへにこちらへの手廻へは百パーセント

殺したてに飽き足らぬえくれの、奴だが、殺ことアすめぬ、當分の間、手も足も出ねえところに鬼りこんで置いてやる。來やがれ

英國は佛國に勝つて手を取る
さする。外に勝つ手が無いんだ
もの。

X

素来が手を握つて日本に對峙し
たのでどうもと暫間した案を
設案人に對し

X

「何ぞ英國を打ねてるんや。」
ごくしくやをねえなんだが、
二人は、おぼけて引立つて、同
の點から田圃に出たたびにいづれ
か立止つた。

あは薩摩一藩を指。
郷が、眞實さが垂れて了舞

ずんたせ
は薩摩藩
や、徳
しで、

紅繪曼茶羅

海音寺潮
富永謙
梅雨空(七)

三五郎であつた。ぴちやくと
れた草鞋の音をさせて足早やに
ついて来ると、じろりと蘇の位
伏したまゝ動かない姿を見て、
れから、傳吉に、

「さつぱりこの阿婆のからくりだ」
 「たんだ」
 「あゝ、まあ……」
 「やい、立て」
 「三五郎は餘に咆鳴つた。
 立たねえか、やい」
 「島道ひと
 ？
 た？」
 堂のさげり
 床下、木立の
 び、のぞいて

した、かに、泥濘^{どろ}に腰^{こし}を突^つく
そして、それでも立たないの
を見ると、膝^{ひざ}をつかんで、ぐい
と延^のびた。
取^とりでもねえ、いたづらをしやが
角^{かく}のところ、が

[illegible]

したつて飽き足らねえくれえの
更に、その邊
聞いて訊したが、
んなことはな
い。來やがれ
て置いてやる。

「何れを要圖々々してゐるんだ。さうしてちやをられねえんだぜ」

一人は、お澄を引立てて、同郷手から田圃道つたににいづれば、立止つた。

めつと黒降と降る雨。

泣ながら、低く聲が垂れて夕暮

ざんせんか。……

は放ちつてお

そのた手宛な


ぶのねえはず

や、御免な

して、ゆつくり

(91)

御試験下さい、どれを
お選びになつてもキツ
トお氣に召します……



HIS MASTER'S VOICE

行名なな豊味術
 助役 香取 東
 先 彦 国 本橋
 中 四 家
 通 田 文
 村 沼 子
 江 子

くらげの手を察
 見えに所々
 ろうに呼び立

炎
 目
 曲
 フ
 ル
 ム



るすにはい
た水鏡を以て
いた。藍はほ
ばりときけ
不世出天才美人形も魂を
傾注した名篇。
唇の紅、さくき型歯曲
大股、せげれ、うや
さ、香深、水の堤原。
→ 水の鏡り
傳記了ルバム
（伊勢六 田二十資金
組改メ感十留特
）→ 臣村秀吉の細評

57

明日の戦を想ひつゝ……

雨の戦地で

ハワイ

立音楽特輯

夏の音楽を聴けなら
涼風自ら吹く爽涼盤を

ハワイ・ア・ラ・ラ
ツツ
ウエラ・の・夜・曲
エラ・の・チ・ム
レイ・エ
ウ・イン・ザ・マ・ハ
マ・ハ

十時發三枚組
新盤なら半額發賣
過天大減價特輯
四十九十九圓

半分ほどの
 半分に折つて、
 紙を投げて、
 に坐つて、い
 んを撃てこ
 に別れると、
 通りに行な
 ざり、行き
 なつかへて
 聞いても、そ
 よのだった。

トルベージュム
 ムルアラ

一日曲・
 型・ドーナレセ・聖父のシニエロ
 型・戯劇・雄雄 師範 吉次・時の興
 アリマ・エゴア・愛ムルガ・ジムム
 曲流行 際際・調度ロ——トウエヌメ

シルクレット指導
 のスター・サロ・重臣
 (エモ・コマー・マック
 十三時・四時
 十三時二十時

現世紀最高
 殊五名聲

現世紀最高
 藝術家の演奏になる

に件なりては、
一者ばかりで
するやうに假
んすが、い
ぬきまじひ
の手にたゝも
うか外様お
しふのゝある
中かせとい

第4輯
音楽愛好家会

●預約募集▲
申込 八月末日まで
會費 毎月三元三十圓
十二時前迄、毎月一決宛配
布、十一月発表。
▼第(四)期委員(新募集)
チヨイネル・
ワイセー(オランダ)
ハイツェツツ
ベルギー海津
生歌作作家
電報アルバム附
タシゴ 薔薇のタンコ
ナラセウ 假装舞踏會
シナル
十圓、ラニニ十五圓

ド・コレ・タクビ

趣味と學藝



半島映畫界の問題

最近の「聖峰事件」に藉りて

半島の映畫界は、最近、大變革の波に襲はれてゐる。その中心は、映畫監督の地位と、その権限の擴大にある。...

新映一画一評

ジェニリーの家

時節柄ながら佳作 場馴れ者

これは、映畫界の愛憎の渦を巻いてゐる。...

細胞。如是我考

大塚 藤吉

細胞。如是我考。...

映畫で時局認識

文部省から配給する

大連番組

京龍館 (十八日)

映畫ニュース

石森氏名譽参事に...

不連続

足もと

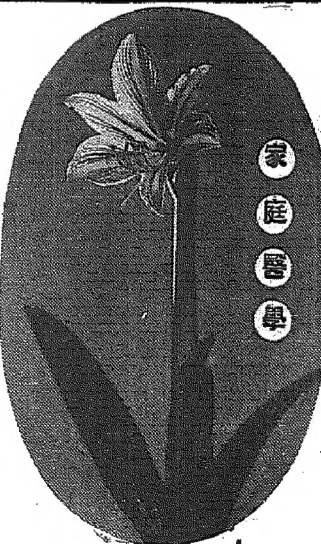
音楽間

今晩のラジオ

結核

結核で入院し

結核で入院し。...



結核の

ビタミン療法

結核のビタミン療法。...

見逃され易い

乳幼児の結核

潜伏性結核の徴候について

結核で入院し。...

田河水泡 (Tanabe Kippa) advertisement featuring illustrations of children and text about health and education.

SANKYO 共 (Sankyo Ka) advertisement for hair removal products, featuring a woman's face and text about 'Fuke' (itching) and 'Boretsu' (hair removal).

國民生活の改修は、國民各人が先づ以て自らの生活の反省を再檢討から出發する。日本國民は昔から二重三重の生活をしてゐる。この二重三重の生活を體化し、單一化する。これが、生活改革の出現である。

X

生活改革は幾十年來の運動であり、諸種の提議が提示されてゐるが、

X

文化改革、文化村、文化生活といふやうなものは、一見生活の體化、覺化、單體化、體體化の如く見えても、精實生活に二重生活、三重生活、實際生活に於て來てゐたことが否に

ミユニケ發表

「予日同盟」英佛會議の申
たるチエツコ問題の對策に
依據的にイギリスに密
ことはドイツの出張が

パリ市内御見學

意義ある作業に進め

穂積本府殖産局長談

本府の打合會で決定

買價格の表示を命じ、之に上

國及此の製品、土木建築材
小竹類及此の製品、櫛す、氷

團體が併行
で、斯くて

用、毎月の

め
それならな
邪家の爲に

直ちに再編成に着手

十四人である

とイタリ、ハンガリー、
政治的提議に關して

イタリー、ハンガリー等は兩國の政策が獨逸極

は全島に分布されてゐる。戸數は全島の五萬八千三百戸が最も多く次は慶南の二

行左の語氏が表出された
事、准一館で開演した

義講^備準團入營入
典教讀必備準の公奉^{さる}施實々愈制兵願志島牛
の日本ノ長期國防

小學教員講習會
 本講習會各府縣試驗合格者立時發給執照
 獨學小學教員
 軍國有益 無代
 記事滿載 進呈
 美觀見本 研究會
 軍兵事研究會
 附兵事研究會
 附兵事研究會

オクニノタメダツヨクナロウ

ナカバヨニ
ケンシヨ
ケテリン
ツメアリ
ツメアリ

森永
ミゼット

ケイヒンイリ・五セン



本 店
 大坂市東區南船場千石目
 四 樓
 電話、電報、名目、是、
 金、銀、紙、張、均、備

院病化贊
 日丁一會治明府城京
 番四二部本話電
 傳染病室
 入院隨意
 普通及
 內科
 小兒科
 古 城 憲 治
 醫學博士

完施
 備設

泉名の効特國清
 國樂の適快易安
 泉 温 陽 温
 館 井 神

計算機
 國産の精銳機
 簡單、操作容易な國産級の精銳機。堅牢にしてよく、如何なる計算事務もに解決。
 桁型 16 桁型 18 桁型 20 桁型
 京城府本町二丁目
 丸善經 京城支店
 電話本局(2) 代客公算
 角一
 コム製品
 消防器具被服
 辛卯年布
 年賦定期貸付
 普通銀行業務
 京坂南大門通二丁目四十番地ノ一
 株式 朝鮮殖産銀行
 頭取 林 繁 藏
 資本金參千萬圓
 所六千四百萬圓
 支店 各地方支店設置

[illegible]

健康は
何よりの資源
アサヒの一杯
活力の源泉!!

アサヒビール

朝鮮麥酒株式會社 元造 朝日ビール

むつかしい交渉は先づ
ノーシン
をのんてから

●ノーシン
で頭痛の治つた氣持は全くカツ
飛ばしたホー・ムランの氣持ですよ

「御鼻にお饒り・ホーはカルピス」

可愛^かいお客^{きやく}さま
お代^かり御^ご所^{しよ}望^{ぼう}！

凉味・整腸 滋強飲料

カルピス

大評判の五〇センチ

夏の御來客に
一番喜ばれる
冷たいカルピス。
冷水で七割ど
溶けば、
即座に何杯でも
出来るから
手間要らず。
その上、
五〇センチ一本が
サイダー半打の
大量に癒える。清さ、

4.07

